

平成 30 年度 第 8 回部長会議 会議記録 要旨

開催日時：平成 30 年 10 月 4 日（木） 14 時 10 分から 15 時 35 分まで

開催場所：市長公室

出席者：牧野市長、佐藤副市長、代田教育長、寺澤総務部長、今村総合政策部長、北沢リニア推進部長、塩沢リニア推進部参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、小平建設部長、奥出建設部参事、前澤上下水道局長、宮内市立病院事務局長、木下市長公室参与、吉村危機管理室参与、赤羽目会計管理者、吉川議会事務局長、三浦教育次長、櫻井社会教育担当参事、関島消防長、串原企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

このところ国内全体で災害が続いており、先日の台風 24 号についても、各部署でご対応いただいたことに改めて感謝申し上げます。また、今週末には台風 25 号が接近する可能性があるという状況で、備えあれば憂いなしということもあるので、災害時の対応を再度ご確認くださいよう重ねてお願い申し上げます。

先月の部長会議のあいさつでも申し上げたが、ちょうど半期が終わったということで、各部署で上半期を振り返り、進捗状況をまとめていただく中でご報告いただきたいと思う。また、下半期に向けても、年度当初の目標に対してどこまで取組を進められるか、きちんとご確認ください。併せて、下半期には来年度の予算編成に向けた手続きも並行して進み、多忙を極めると思うが、職員の皆さんの健康管理には十分ご留意いただき、一丸となって取り組んでいただくようお願いしたい。

2 協議事項

(1) 飯田市自殺対策推進計画の策定について（健康福祉部）

◇趣 旨：本計画の策定にあたり、関係する各部署から選出された委員で構成した自殺対策推進計画策定委員会庁内委員会で協議を重ね、社会福祉審議会本部会のご意見も参考にして、このたび素案をまとめたため、部長会議で協議をするもの。

◇論点・課題

- ・本計画は、いいだ未来デザイン 2028 をはじめ関連計画との整合性を図り、市民一人ひとりが自殺を防ぐ役割を持つという自覚と知識を持ち、「だれもが自殺に追いこまれることのない飯田市」の実現を目指すものである。
- ・飯田市の現状・課題として、自殺死亡率は減少傾向にあるものの国や県と比較して高い水準にあり、自殺死亡者数は年間 20～30 人前後となっている。
- ・すべての自治体で取り組むことが望ましいとされる事業を「基本施策」、飯田市における自殺の特性や地域における課題として想定される層を対象とする事業を「重点施策」に位置付け、自殺対策を推進していく。
- ・今後は、この素案をもとに社会福祉審議会へ諮問するとともに、12 月をめどにパブリックコメントを行い、2 月の社会福祉審議会でご意見をいただけるように進めていきたいと考えている。

◇主な意見等

(総合政策部長) 自殺死亡者数を過去 3 年から 15%減少させるという高い目標を掲げている中で、この計画策定を契機に何をどのようにするかという具体的なものが見えないように思う。

(保健課長) まずは相談しやすい体制を構築することが大切だと考え、相談窓口一覧表を作成した。この相談窓口への相談件数を一つの判断材料と捉えて進めていきたい。

(副市長) 国や県と比較して飯田市の自殺死亡率が高いことは、市民の皆さんにどのくらい共有されているか。現状について、市民の皆さんにも意識していただくことは必要だと思う。もう一点、先ほど相談窓口の話があったが、窓口が一覧表になっていても、実際に悩んでいる人が具体的にどこに相談に行けばいいのかわかりづらいと思う。その人の立場に立って考えていただきたい。

(保健課長) 庁内委員会等で検討させていただく。

- (総合政策部長) 相談しようと思っただけであればまだよいが、相談することもできないと思っている人にどのようにアプローチするかということも大切な視点だと思う。
- (副市長) 相談をするのは、ご本人よりもご家族の方が多いのではと思う。ご家族が異変を察知したときに、どこに相談すればよいかわからないという声を聞いた。周りが異変を感じた時にどうすればよいかというものが必要だと思う。
- (保健課長) 毎年9月から10月にかけて、ゲートキーパーの養成、いわゆる周りの人が気づくための講座を行っている。そのような考え方をいかに知ってもらえるかが大切だと思う。
- (教育次長) 飯田市の現状と課題を捉えたときに、相談体制の充実、強化だけでは課題を解決する取組として不十分だと思う。他の取組を研究して打ち出すことが、飯田市としてこの計画を作る意味だと思う。
- (市立病院事務局長) この資料を見て、働き盛りの男性の死亡率が高いということ、また健康問題が一番ということで非常に危機感を持っている。このデータを見て市立病院でできることを考えていきたい。
- (総合政策部長) 今出たような意見を深めていただき、内容を再検討していただきたい。計画が完成しない段階でも状況を共有していただきたい。

◇協議結果

計画の内容について再度検討をしていただき、今後も随時情報共有をお願いしたい。

3 報告事項

(1) 平成30年9月の交通事故報告について(総務部)

◇趣旨：9月に発生した公用車および通勤中・公務外の交通事故の事案を部長会議で共有し、交通事故の防止に取り組んでいただくもの。

◇論点・課題

- ・9月は公用車の事故が7件、内訳としては人身事故が2件、物損事故が5件(うち、もらい事故が2件)であった。
- ・通勤中・公務外の事故は1件で、人身事故になる可能性がある物損事故であった。
- ・今年度の上半期の事故件数は、昨年度1年間の事故件数を上回ってしまっている状況である。
- ・10月15日に開催する交通安全講話では事故の発生件数を分析したものも資料として出す予定である。各職場で車を運転する際の注意喚起を改めて徹底していただきたい。

◇主な意見等

(総合政策部長) 昨年度と今年度の事故件数の比較を数字で示していただいた方が理解しやすい。また、増加原因について、総務文書課や人事課でどのような分析をしているか示していただきたいと思う。

(2) 環境マニュアル第31版に基づくISO14001内部監査の報告及び環境マニュアルの改正について

(市民協働環境部)

◇趣旨：平成30年4月1日に改訂した環境マニュアル第31版に基づき、計38部署の内部監査及び事務局監査を実施した結果を報告するもの。また、平成30年度第1回マネジメントレビューを行い、市長から示された指示事項をもとに環境マニュアルの改正について部長会議で共有するもの。

◇論点・課題

- ・内部監査の総括としては、飯田市環境マニュアル第31版がISO14001:2015年版の要求事項を満たしていることが確認されたが、その運用については内容の理解を深めるなど改善の余地があるといえる。
- ・昨年指摘のあった内部監査の力量確保について、工夫がなされ力量のレベルが上がったことに比例し、要求事項に即した指摘事項も増加している状況である。
- ・市長からの指示事項については、事務事業進行管理、目標管理との統合を引き続き進めること、理解が不十分と考えられる職場への教育訓練を今年中に実施すること、飯田市役所環境マネジメントシステムの取組の成果を積極的に情報公開すること、昨年度未達成だった環境目標については今年度中に確実に是正するとともに、今年度の環境目標で中間評価が未達成であるものは年度末までに確実に達成できる

よう取り組むことが挙げられている。

- ・これまでの取組、検証、評価についてご確認いただき、下半期への取組についてもご理解ご協力をお願いしたい。

◇主な意見等

特になし

(3) 平成 29 年度決算認定に係る施策評価等に関する提言について（総合政策部）

◇論点・課題

- ・議会からいただいた行政評価に関する提言を資料としてつけさせていただいた。この提言書は各部局に既に配布されているが、今一度ご確認をお願いしたい。

◇主な意見等

特になし

(4) 平成 30 年度戦略計画中間評価（理事者協議）について（総合政策部）

- ◇趣 旨：議会の行政評価および未来デザイン会議の評価を踏まえた、平成 30 年度戦略計画の中間評価（理事者協議）の内容について報告する。

◇論点・課題

- ・昨年度はうまく整理ができなかったこともあり、理事者協議が 1 回のみで、課題の共有にとどまってしまった。それを踏まえて、今年度はステップ 1 とステップ 2 に分けて実施させていただく。
- ・ステップ 1 では、基本目標ごとに実施するが、戦略計画に加えてその他の懸案事項についても問題意識や課題の共有、進捗状況の確認等をしていただきたい。ステップ 2 では、取組案や見直し案を協議する中で、戦略計画については重点的に取り組むものを明確にすること、また、その他の懸案事項についても予算編成に向けて方向性を出していきたいと考えている。
- ・課題等の議論にあたっては、過去を振り返りながら、今どのように進めていくか、また今後の展開を含めて協議していただきたい。
- ・議会からの行政評価の指摘事項や懸案事項を含めた組織目標など、各部等の課題・懸案事項を全体的な視点で一覧にした。各部局で内容をご確認いただき、漏れている点等があればご連絡をいただきたい。
- ・また、平成 31 年度戦略計画の重点化事業の候補も挙げさせていただいている。こちらについても部局内でご検討いただき、ご意見をいただきたい。

◇主な意見等

(市民協働環境部長) マネジメントリーダー一会の中で、このような内容をきちんと議論ができるようにしていただきたい。マネジメントリーダーとして、基本目標をはじめ、小戦略、当事者目標に設定したものを日々確認しながら業務を進めているという自負を持っている。リーダー会が十分に機能するよう考えていただきたい。

(企画課長) ご指摘の通りだと考えている。各リーダーには評価シート等を作成・確認したうえで提出いただいているが、それを企画課内で検討しながらまとめていく過程で、リーダー会で議論をする時間を作っていない。今後のスケジュールの中で、きちんと議論する機会を作れるよう努めていきたいと考えている。

4 その他、連絡事項

・支出伝票の返戻状況について（会計課）

- ・9月に実施した会計事務 3 S 強化月間中の伝票返戻率は 5.23%であった。昨年度の同時期、また今年度の 7 月の調査よりも改善されている。今後も振込誤りの防止や請求書の適正な受理・管理を徹底いただき、適切に会計処理が行われるよう各部課で周知していただきたい。

・三遠南信サミットについて（総合政策部）

- ・今年之三遠南信サミットは、10月29日（月）に豊橋市で行われる。総合政策部のほか産業経済部など出席される方がいると思うが、他に出席いただける場合には企画課までご連絡をいただきたい。今回は三遠南信連携ビジョンの見直し策定ということで新ビジョンの方向付けが行われる。来年度は飯田市でサミットを開催する予定であるのでご承知おきいただきたい。

・まちづくり委員会連絡会の内容について（市民協働環境部）

- ・通学路の安全対策について、教育委員会での取り組み以外にもブロック塀を撤去・改修する支援策について踏み込んだ検討をお願いしたいとの意見をいただいた。
- ・職員の組合加入について、本人の意思によるものなので強制加入ということとはできないが、地域コミュニティの振興が飯田市の地域づくりのベースになっているという部分を職員に一層理解していただくようお願いしたい。

5 閉 会